

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.9 平成27年9月16日発行
発行責任者：高一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



宗谷の秋は「学びの秋」

教育研究大会特集



いよいよ、へき複大会。そして、母女・教科等研究大会…と、宗谷の秋は「学びの秋」——立て続けに管内的に大きな集まりが続きます。今回の宗谷情報では、「へき複大会」と「教科等研究大会」を特集します。管内の先生方ががんばって準備をしている、奮闘しているという点では、激励をしていきたいということです。

猿払村立 浜鬼志別小学校

全校児童55名の浜鬼志別小学校。3・4年のみ複式で、あとは単学級の学校です。本大会では、14名の複式の国語と、5年生の算数を公開します。「浜鬼の元気な子どもたちは、授業に集中したときのパワーはすごいですよ」と教えてくれた山本唯先生から、へき複大会について聞かせていただきました。

本大会を見据えた 4年間の学校研究

子どもたちに、基礎・基本を身につけさせたいと取り組んでいる学校研究は、4年計画の4年目にあたるそうです。「へき複大会が2015年に行われることがきまって、前研究部長のもとで、大会が節目となるようにスタートしました。」と山本先生。

学校研究では、学び方を意識しているそう。研究の一環として、「浜鬼学習スタンダード」というものに取り組んで4年になるとのこと。「スタンダード」と言っても、昨今よく聞く、ゼロ・トレランス的な厳しさではなく、どの学級の、どの子どもたちも納得して学習に集中できるよう、「書く」「聞く」「持ち物(の揃え方)」「言葉」「座り方」「チャイム席」という6項目で、学習に向かう環境づくりをしているそうです。浜鬼での勤務5年目を迎える山本先生は、「これができてから子どもたちの様子が変わったんです。昨年のプレ研でも評価していただきました」と教えてくれました。

先生方全体で取り組む 学校研究

国語の授業では子どもたちが授業に見通しが持てるように、算数では研究を進める上での工夫をしたり…と先生方で力合わせをしながら本大会に向かっていく様子

かせていただきました。

「算数では、今年の1次研で6年生の「速さ」を扱い、課題解決の仕方や、系統性について研究協議で学ぶことができました。本大会での5年生の授業に生きてくると思います」と山本先生。

また、「以前は指導の困難性が目立っていたけど、先生方で授業づくりや生活指導を大切に学校づくりを進めてきた中で、子どもたちはみるみる成長してきたんです。どんな子どもたちでも丁寧に学びを広げられるような、言ってみれば『授業のユニバーサルデザイン』みたいな研究をみんなでしてきました。」と本大会に向かう意気込みを教えてくださいました。



全校児童13名。「チーム力」を大切に、先生方が芯をブレずに、子ども一人一人が力を発揮しているそうです。へき複大会では、単元を貫く言語活動を意識した国語の授業が公開されます。授業公開をされる佐藤先生・盛岡先生をはじめ、乙小の先生方にお話を伺いました。

「感じたこと・考えたことを伝えたい。」 言語活動が 子どもたちの力になっていく

へき複大会の会場校と決定した2013年度。それまで3か年計画で続けてきた国

語の学校研究を、2年延ばして5年間として研究に取り組んできたそうです。この2年間は、教科書教材で身に付けた力を生かして子どもたちが主体的に取り組む「並行読書型」の言語活動を取り入れています。子どもの実態や教科書教材との関連を深く考えながら教科書に並行して読書活動が進むよう、子どもたちが「誰かに伝えたい」という思いから活動が広がるよう工夫してきました。言語活動に欠かせない言語意識をもった活動の工夫も、小規模校ならではの、一人学年の子が他学年の子に、職員室の先生に…と相手意識・目的意識をもって活動するなど、日常的に様々な工夫を凝らした言語活動をしているそうです。

「こう感じたよ」 「伝え合うっていいね」が 国語の授業で広がって…

「『これが正解』というのがないと、不安な子どもたちでした」と昨年度の様子を教えてくださいましたのは、1・2年生担任の佐藤先

生。「気が付いたことは伝えるのがいいね」「伝えるって相手にとって、いいことなんだね」と普段から確かめ合いながら、1学期の読書教材では「おすすめの本」を紹介し合う学習に、子どもたちは笑顔で取り組めたそうです。今回の公開授業に入るに当たり、「先生、また紹介するの?」と楽しみにしている様子を聞かせてくれました。

「読書に苦手意識をもっていた子も、国語科の並行読書を通じて、興味をもって、本を読むようになりました」と教えてくれたのは、5・6年生担任の盛岡先生。「読書って、『ここがおもしろい』っていう感じ方は人それぞれでいいんだ」と言語活動を通して気付いた子どもたち。「推薦文を書く」「本の帯をつくる」といった言語活動を通して、読書のよさを感じ、国語の学習に自信をもてるようになってきた様子をお話ししてくれました。



枝幸町立 乙忠部小学校

町研大会として公開 礼文町立香深中学校

町研大会という位置づけで、礼文町では香深中学校がへき複大会と同日に授業公開を行います。礼文町の要項パンフレットをたよりに香深中学校にもおじゃましました。

まずは、研究の概要を、研修担当の棒田志帆先生にお聞きました。

研究主題は、「聴く力の育成～認め合う集団づくりをめざして～」。これまでの研究では、言語活動や学び合いについて取り組んできたそうです。その中で子どもたちの関係性の構築について「聴く」という営みを大切にすることで、お互いを認め、学び合いが深められる可能性が見えてきたそうです。町の中心校に共通する「幼少期から同じ集団」ということがもたらす弊害、集団の中での立ち位置の固定化が学習にも影響するという意識を、**「少人数だからできる研究」として、**

人間関係づくりを意識した学校研究をすることにしたと教えていただきました。

「攻めの聴く力」を 高めたい

「子どもたちが、学習の理解や気持ちを理解し合う伝え合いを大切にしたい。そして、こうした観点で交流したり、『自分の教科では…』と考えることを大切にしたい」と棒田先生がお話してくれました。

町研大会として、1年生音楽、2年生英語、3年生理科を公開します。

1年生音楽

今年度、土別市の朝日中から異動された藤田先生。前任校は山村の学校。いまは港町だけど、同じように素直でいい子が多いとお話をしてくれました。

授業は鑑賞。音楽の特徴を理解し、説明し合う活動。「1年生は感性も、表現力も豊かだから」と子どもたちの様子を交えてお話をしてくれました。

2年生英語

「もし明日ヒマなら、こんな観光地が素敵ですよ」と、島外からへき複大会に来られる方も意識して、学んだ表現を活用する…「if…」をちょこっと使った活動を考えています。」と古川先生。聞いている方を意識して、活動できれば…という願いも聞かせていただきました。

3年生理科

山崎先生からは、研究授業の内容を検討する際のエピソードを聞かせていただきました。

「香中の研修日には、学校研究のテーマを土台にして、先生方と議論ができる。そのことから『自分は理科で…』というように深め、教科の専門性は町研サークルで指導案を検討していただき、深めることができます」と。

礼文町の町研サークルには高校の先生方も参加しています。町研による連携が深まっている様子が伝わってきました。



研究担当の棒田先生と、分会長の山崎先生

いきました。「組合として、各学校の校長先生宛てに依頼状を出してお話を聞く」というスタイルです。従って、組合加入は関係なく、授業者の先生、研修担当の先生などたくさんの方のみなさんにお世話になり記事にすることができました。へき複大会について



◆宗谷教組としては一〇年以上取り組んでいなかった、管内的な研究大会の会場校に取材をさせていただくという取り組みを行いました。

は、管内で9校が授業公開に向けて、学校研究を進める中で力合わせや教師としての学んでいる様子が伝わってきました。残念ながら、取材できなかった学校もありますが、「民主的學校づくり」という考え方が、管内のあちこちで広がっていることが伝わってきました。

◆今回は記事にしていますが、組合の「秋の学び」は『合同教研』今年度は、たくさんの方のレポーターで参加したい。参加したことがない人でも「参加してみようかな」と思えるよう、「宗谷教組合同教研ニュース」

へき複大会が終わったら… 9月27日は教科等研究大会

今年で4年目を迎える管内教育研究大会。今年は昨年までと違って、「稚内の大規模校が授業公開して…」という部分がなく、「教科等研究会」の集まりが26～27日に集中的に開催されます。みなさんの職場では、案内はまわっていますか？

管内研では、毎年様々な声が聞かれます。「休みなのに…」「強制なのか？」などの声が聞かれたり、はたまた「話題にもならないよ」という声があったりします。

大切なのは、「管内の先生方が一丸となって集える学習の場がある」ということではないでしょうか。一人ひとりの「勉強したい」という願いだけでも、組合や民主的な力だけでも実現しない取り組みが、宗谷にはあるんだということが大事で、それは今後の管理と統制が進む教育施策の中で輝いてくるはずですよ。

昔から、宗谷の先生方が大切にしてきた「取り組みを準備してくれている先生がいるから、参加して激励するんだ」という『お互い様精神』とでもいうべき心意気。そして、「自分はさておき、若い人を誘ってみよう」などというのもあるでしょう。

こうして、宗谷の教育運動は発展してきたのかもしれませんが。今こそ、私たちが主体者として管内の教育研究運動に関わることを大切にしていきたいものです。(naity)

平成27年度 宗谷管内教育研究連携会議教科等研究大会

と き 平成27年9月27日(日) 10:00～15:00
と ころ 稚内中央小学校・稚内中学校

教育講演

9:30 10:00 10:30 11:00 11:30 12:00

開会式	教育講演 佐藤 真 氏(関西学院大学教授) *会場: 稚内中央小学校	昼食休憩 (稚内中央小学校・稚内中学校) *研究会ごとに解散
-----	--	--------------------------------------

※午前は中央小学校、午後は2会場となります。(稚内中央小学校・稚内中学校)

講師 佐藤 真 氏(関西学院大学 教授)
「新しい教育課程で教科研究を進展させる要点」

教科等研究会 9教科と道徳・児童生徒理解の研究会開催を予定しています!

①国語 ②算数数学 ③社会 ④理科 ⑤英語
⑥保健体育 ⑦音楽 (9月26日開催)
⑧図工美術 (9月26日開催)
⑨外国語 ⑩道徳 ⑪児童生徒理解

主催 宗谷管内教育研究連携会議
後援 北海道教育庁宗谷教育局 稚内市教育委員会
宗谷管内連合PTA 稚内市連合PTA

(naity)